

LOVE in Letter 16

～輸血を受けた患者さんのメッセージ～

献血をして下さっている皆様へ

私は23歳の男です。現在社会人1年目です。

今は周りの人と比べて何ら変わらない生活をしてはいますが、五年前はそうではありませんでした。18歳の頃、血液の難病を患いました。その頃大学に通っていましたが、闘病のため退学せざるを得ない状況となりました。

最初に医者から言われたことを今でもはっきりと覚えています。

「今あなたは自力で血液を造ることができないの。もし輸血をしなければ二週間度には死んでいるよ。」

突然のことにびっくりしました。でも、それが現実なのでした。

その日から私は輸血を受け始めました。血液が身体に入った時、血液は冷めなかったけどとても暖かい気持ちになりました。

今、私の身体には50人以上の方の血液が流れています。これからも私が生きている限り、この55人の方の血液も流れ続けます。

皆様から頂戴したのは血液だけではありません。優しさをもらいました。愛をもらいました。そして、明日を迎えられるという希望をもらいました。本当に感謝をしてもしきれません。この思いが少しでも多くの方に届きますように・・・。

ありがとうございました。

平成28年7月29日